

2011年10月31日

2010年度 学校関係者評価実施状況

大阪YMCA国際専門学校

今年度の学校関係者評価は、先に高等課程のA・B両学科の常勤教職員で行った自己点検・自己評価（今年度初めてチェックシートと評価項目のポイント制による客観評価を導入）結果をもとに、アドバイザーによる評価会委員会を開催し、保護者からは個別に意見を聴取しました。

常勤教職員による自己点検・自己評価は、概ね点数においても良いものでしたが、学校運営における財務内容の理解と教員研修等の評価項目に、特徴的にポイントの低さが表れました。

①学校関係者評価委員

- ・アドバイザー（元高等学校校長）
- ・アドバイザー（人材育成コンサルタント）
- ・アドバイザー（カウンセラー）
- ・学校アドバイザー（他高等学校校長）
- ・他校も兼務の非常勤教員
- ・在籍生保護者（2名）

9月に3名のアドバイザーと他校兼務の非常勤教員および学科責任者、校長で評価委員会を開催しました。また、保護者には学科責任者が聞き取りを行いました。

②評価委員会での主な意見

i) チェックシート全般に対する意見

- ・チェックシートは、自分自身のことというよりも客観的な立場から学校全体を見て評価をしている。ただ、人によっては自分自身について解答している者もいるかもしれない。そうすると評価の基準がずれるので、今後この点の明確化が必要。
- ・財務関係のポイントが低いのは、自分自身の理解を基準にしているからであろう。公表が義務化された現在、全員の理解度を上げる必要があるならば、管理職以外であっても職制に応じたレベルの学習の機会が必要となる。
- ・全体的に評価項目のポイントが高いが、常勤者の意識と非常勤者にまで評価を拡大した時の意識の格差には注目する必要がある。
- ・教職員が、常にチェックシートの項目を意識して業務に取り組むといいのではないかと。

全般的に自己点検・自己評価のポイントが高いが、上記の評価を踏まえ、以下の2点について議論を深めました。

ii) 財務状況の理解について

- ・財務状況はポイントが低い部分は、上げる努力をする必要があるのか。
 - *そこまで意識をする必要はないが、学校法人全体の予算・決算書は各々確認し（HPで公開されている）知っておく必要はあるのではないかと。確認する際は、見方などの説明が必要。
 - *私立学校である以上、広報面でも常勤教職員は財務に関して意識をする必要があるのではないかと。ノルマではなく、自分達の志向する教育を展開するために何が必要か、財政的な基盤を意識しておく必要がある。
 - *マネジメントの視点は、各教職員に必要である。学校法人に関わらず、事業感覚を養っていく必要がある。
- ・一方では、財務的な観点を強調するあまり、教育が事業化してしまわないための情報共有の場が必要である。

iii) 教員研修について

- ・「初任者のサポート状況」の初任者とは、何を指しているのか。非常勤の教員も入っているのか。
- ・非常勤の教員にもチェックシートによる評価を実施した場合、ポイントは低くなる可能性がある。
 - 生徒の情報は詳しく伝わってくるが、B学科では同じ教科間に関する情報共有が乏しい。
 - 専任教員がいる教科は情報共有が行き届いている。各教科に専任スタッフがいるかいないかで状況が異なる。
 - ベテランの教員の多い教科と新任教員の多い教科では、情報共有の仕方に工夫がないと、悩んでいる新任教員もいるのではないかと。
 - 昨年度からの引継ぎが不十分な場合、授業を計画・展開するのに支障が起こった。

[提案]

- *講師会にて教科間で話をする場を設ける
 - *生徒情報だけでなく、教科間情報を共有する
 - *新任の教員に対してのサポート体制を作る
 - *非常勤教員が語り合える場を意図的に作る
-
- ・B学科は7年前の開設以来、学科の特色として、人間関係やコミュニケーションを中心とした生徒情報に重きを置いてきた。ここ数年、授業・教科に対するカリキュラムの確立にまで目を向けられるようになったということは、B学科の成長の証ではないかと。

iv) 保護者の意見

- ・チェックシートによる客観的評価を行ったが、昨年同様評価は概ね高かった。
- ・施設的な制約は理解しつつも、多彩なクラブ活動に対する希望は多い。
- ・多彩な校外活動・ボランティア研修が生徒の成長・人間形成に役立っている。
A学科では、海外研修も含め同様の評価が出た。

③次年度への課題

- ・チェックシートの実施を、常勤者から非常勤者にも広げ、課題の抽出を的確にすること。
- ・保護者の意見も多様に求めるため、チェックシートの実施人数を増やすこと。
出来れば保護者も実施委員会に加わるか、保護者だけの評価会を開催すること。